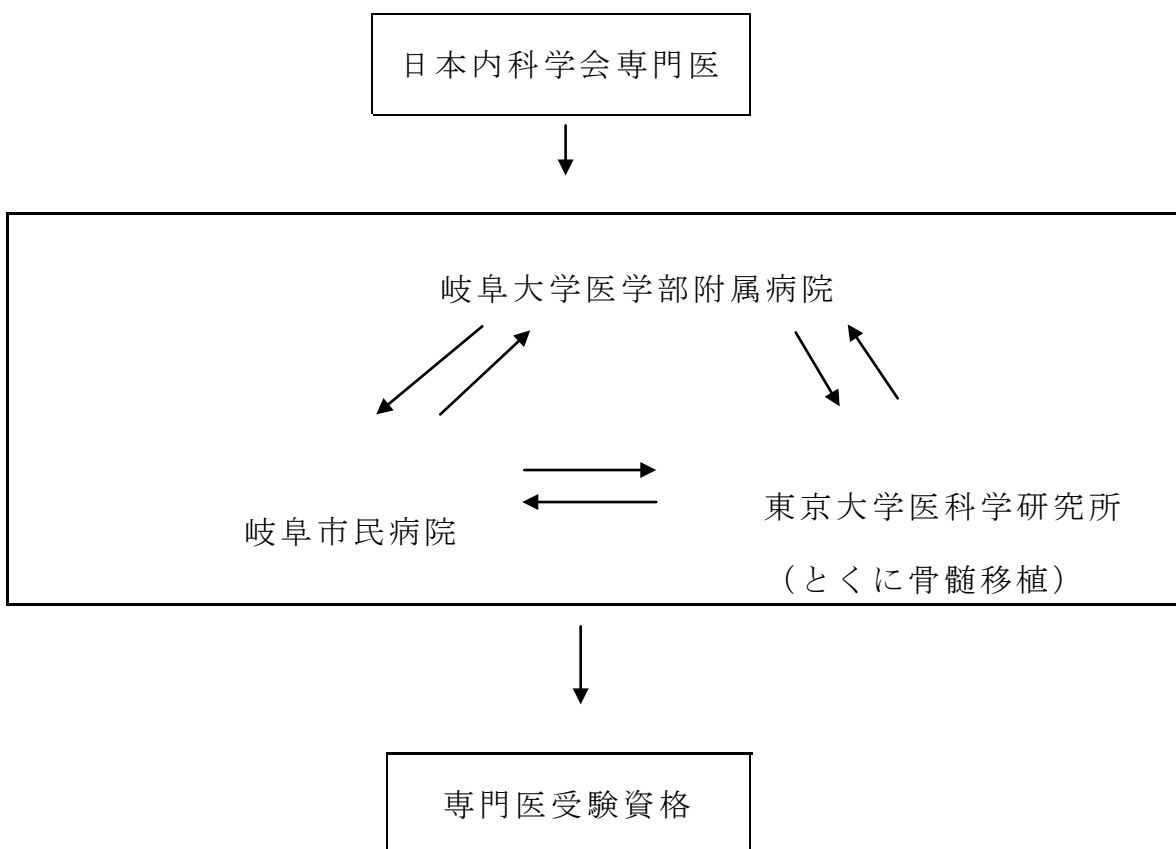


## 血液感染症内科コース（第一内科）

### （１）コースの全体像

血液感染症内科の後期臨床研修は、①専門医コース、②大学院コース（消化器病態学または臨床腫瘍学）のいずれかが選択できる。また、臨床分野で各種専門医を取得した後に大学院に進むことも可能であり、逆に大学院在学中に専門医を取得することも可能である。大学病院では、多くの症例を通して診療技術（HIVを含む感染症治療、がん化学療法、造血幹細胞移植術など）を学ぶことができ、当科関連病院では同様の症例の蓄積に加えて他領域の疾患（消化器内科、呼吸器内科、神経内科など）について研修することも可能である。特に第一内科は消化器内科も併設しており、内視鏡技術などの研修も可能であり、さらに臓器横断的に栄養管理や化学療法のプロフェSSIONナルとしての研修が可能である。また、大学院進学の有無によらず、希望者は基礎研究・臨床研究を行い、学位の取得を目指すことも可能である。



## (2) コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	第一内科	血液病態学 臨床腫瘍学	5	血液内科、腫瘍内科関連の各種専門医の取得あるいは医学博士取得を目指す	3	6ヶ月
岐阜市民病院	血液内科	血液内科	2	血液内科、腫瘍内科関連の各種専門医の取得あるいは医学博士取得を目指す	1	6ヶ月
東京大学医科学研究所附属病院	血液内科	血液内科	5	血液内科、腫瘍内科関連の各種専門医の取得あるいは医学博士取得を目指す(とくに骨髄移植)	1	1年
				受入人数	3	

## (3) コースの実績

当科にて取得が可能な認定医・専門医(多くの医局員が取得しているもの)  
日本内科学会認定医・専門医、日本血液学会専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、日本がん治療認定医機構認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本感染症学会専門医など。また、大学院進学の有無によらず、基礎研究または臨床研修を通して学位の取得が可能である。

## (4) コースの指導状況

各種専門医を取得するためには、日本内科学会認定医を取得することが必須であり、まずはその取得をできるように指導している。その上で、各種専門医を取得できるように、希望に応じた症例の経験を積むことができるように配慮している。その一方、大学院進学の有無によらず、科学者として研究にも関心が持てるように指導し、学位取得に向けての指導を行っている。近年は、臨床研究による学位取得も増えている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本血液学会専門医、日本臨床腫瘍学会専門医
資格名	各学会専門医
資格要件	日本内科学会専門医
学会の連携等の概要 各施設とも当該学会の認定研修施設であり、必要かつ十分な指導能力を有する	